



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月13日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 2924 URL http://www.ifuji.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳
 問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	10,692	△2.9	623	27.3	640	27.3	435	3.4
2018年3月期第3四半期	11,007	1.4	489	△8.0	503	△8.0	421	6.5

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 424百万円(△3.4%) 2018年3月期第3四半期 438百万円(4.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	52.32	—
2018年3月期第3四半期	50.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	10,960	5,585	51.0
2018年3月期	10,972	5,294	48.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 5,585百万円 2018年3月期 5,294百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2019年3月期	—	8.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	9.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,227	△1.2	730	5.4	737	3.9	492	△11.3	59.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	8,345,370株	2018年3月期	8,345,370株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	15,728株	2018年3月期	15,677株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	8,329,666株	2018年3月期3Q	8,329,898株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
追加情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大規模な自然災害による影響や人口の減少に伴う国内需要の減少等の懸念材料はあるものの、企業業績や雇用環境の改善が見られ緩やかな回復基調で推移しました。

食品業界におきましては、原材料価格の上昇や人件費の高騰等による商品の値上げや内容量の減量（実質値上げ）等により、消費者の生活防衛意識が強まってきております。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は前年同期比2.9%減の10,692百万円となりました。これは主に、鶏卵関連事業において第3四半期連結累計期間における過去最高の販売数量となったものの、鶏卵相場（全農東京M基準値）が前年同期比で約14.1%（約29.4円）低下したため、連動する販売単価も大きく低下したことによるものであります。

損益につきましては、鶏卵関連事業において販売数量が好調に推移したことに加え、鶏卵相場の低下に伴い原料仕入単価も低下したこと等により、営業利益は同27.3%増の623百万円、経常利益は同27.3%増の640百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、同3.4%増の435百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、主要な商品である液卵の製品販売単価及び原料仕入単価が鶏卵相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は製品販売単価及び原料仕入単価ともに高く推移し、低く推移した場合は製品販売単価及び原料仕入単価ともに低く推移する傾向にあるため、製品販売単価と原料仕入単価の差益を一定額以上確保するとともに販売数量を伸ばす努力をしております。

当セグメントにおける業績の重要な指標である販売数量につきましては、主要販売先である製菓・製パンメーカー向けへの販売が堅調なことに加え、冷凍食品メーカー向けへの販売が増加したこと等により前年同期比5.8%増となりました。売上高につきましては、販売数量は増加したものの鶏卵相場が低下したことによる製品販売単価の低下により液卵売上高は前年同期比2.9%減の9,087百万円となりました。また、加工品売上高は仕入販売の減少等により同16.6%減の385百万円、その他売上高は同4.4%減の297百万円となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の合計の売上高は、同3.6%減の9,770百万円となりました。

セグメント利益につきましては、販売数量が増加したことや鶏卵相場の低下に伴い原料仕入単価も低下したこと等により前年同期比28.0%増の575百万円となりました。

②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、既存商品の販売の増加等により、前年同期比6.0%増の937百万円となりました。セグメント利益につきましては、主に売上高が増加したことにより、前年同期比17.4%増の36百万円となりました。

③その他

当セグメントにつきましては、売上高は前年同期比3.7%増の21百万円となり、セグメント利益は同24.0%増の11百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は10,960百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少しました。

流動資産は5,789百万円となり、前連結会計年度末に比べ138百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加203百万円、商品及び製品の増加156百万円、現金及び預金の減少298百万円等によるものであります。

固定資産は5,171百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円減少しました。主な要因は、機械装置及び運搬具の減少109百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は5,375百万円となり、前連結会計年度末に比べ303百万円減少しました。

流動負債は2,980百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円減少しました。主な要因は、未払消費税等の減少119百万円等によるものであります。

固定負債は2,394百万円となり、前連結会計年度末に比べ184百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少176百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は5,585百万円となり、前連結会計年度末に比べ290百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益435百万円の計上及び配当金の支払い133百万円により利益剰余金が302百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.2%から51.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月1日の「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,228	1,929
受取手形及び売掛金	2,406	2,609
商品及び製品	684	840
仕掛品	52	48
原材料及び貯蔵品	262	331
その他	21	33
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	5,650	5,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,939	1,977
機械装置及び運搬具（純額）	1,183	1,073
土地	1,912	1,915
その他（純額）	98	37
有形固定資産合計	5,134	5,004
無形固定資産	15	9
投資その他の資産		
投資有価証券	148	134
その他	25	23
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	172	156
固定資産合計	5,322	5,171
資産合計	10,972	10,960
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,011	992
短期借入金	1,146	1,178
未払法人税等	162	86
未払消費税等	145	25
賞与引当金	67	36
役員賞与引当金	—	29
その他	565	631
流動負債合計	3,099	2,980
固定負債		
長期借入金	1,904	1,728
長期未払金	567	567
繰延税金負債	81	73
その他	25	26
固定負債合計	2,578	2,394
負債合計	5,678	5,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	4,411	4,713
自己株式	△6	△7
株主資本合計	5,226	5,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	56
その他の包括利益累計額合計	67	56
純資産合計	5,294	5,585
負債純資産合計	10,972	10,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	11,007	10,692
売上原価	9,235	8,685
売上総利益	1,772	2,007
販売費及び一般管理費	1,282	1,383
営業利益	489	623
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	1
受取賃貸料	18	18
その他	5	7
営業外収益合計	25	26
営業外費用		
支払利息	12	9
営業外費用合計	12	9
経常利益	503	640
特別利益		
投資有価証券売却益	5	—
補助金収入	116	0
受取保険金	—	12
特別利益合計	122	13
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
災害による損失	—	9
特別損失合計	0	9
税金等調整前四半期純利益	624	643
法人税、住民税及び事業税	180	211
法人税等調整額	22	△3
法人税等合計	203	208
四半期純利益	421	435
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	421	435

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	421	435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	△11
その他の包括利益合計	17	△11
四半期包括利益	438	424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	438	424
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,135	851	10,986	20	11,007
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	33	34	—	34
計	10,136	884	11,021	20	11,042
セグメント利益	449	30	480	9	489

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	480
「その他」の区分の利益	9
四半期連結損益計算書の営業利益	489

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,770	900	10,671	21	10,692
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	37	37	—	37
計	9,770	937	10,708	21	10,730
セグメント利益	575	36	611	11	623

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	611
「その他」の区分の利益	11
四半期連結損益計算書の営業利益	623

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

追加情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。